

# これからの公共施設を考える ～将来世代のために～

高度経済成長期に多く造られてきた公共施設は、今後、維持管理費に加え、多くの費用が掛かる「更新問題」に直面します。公共施設を適切に維持管理していくため、大磯町公共施設等総合管理計画の策定に取り組みます。

待ったなし！  
公共施設の更新問題

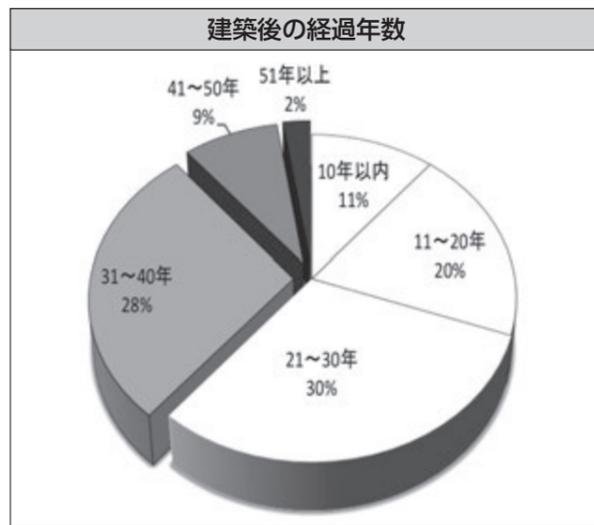
町内の公共施設の多くは、高度経済成長期に整備されており、これらの公共施設がほぼ同じ時期に改修や建替えなどの更新時期を迎えつつあります。今後、生産年齢人口の減少などによる税収の減少や高齢化の進行等により扶助費（社会保障費）の増大などが加わり、行財政運営は、一層厳しさを増していきま。将来世代の負担をこれ以上増やさず、適切な行政サービスを提供し続けるためには、施設の更新問題は、避けて通れない深刻な問題であり、自治体共通の大きな問題です。

町が所有する平成28年1月1日現在の公共施設の建物数は82で詳細は右下の表です。すべてを維持した場合、改修・更新に掛かる費用を試算したところ、

建物の老朽化が  
進行していきます

82ある建物の建築後の経過年数を建物数の割合でまとめたものが左のグラフです。

21年から30年が経過している建物が30%と最も多くなっています。老朽化の目安である31年以上経過している建物数は32で、全体に占める割合は39%です。



次世代に負担を  
残さないために

今後の財政状況を見通すと建物の改修・更新に掛かる費用の財源を確保することは非常に難しく、今ある建物をすべて維持管理・更新していくには、限界があります。

そこで、町が所有する公共施設の建物の状況、維持管理費、運営費等のコストや利用状況などの実態を調査しました。そして予想される今後の財政状況と公共施設等の改修・建替えにかかる経費とのバランスをとりつつ、公共施設等の在り方や見直しを進めるための基本的な方向

◆町が保有している公共施設 平成28年1月1日現在

小分類	施設名	建物数	延床面積 (㎡)
庁舎・消防施設	本庁舎・保健センター	2	4,758
	国府支所（国府分署・国府分館）	1	1,189
	消防署・消防本部（武道館）	1	1,384
	分団	9	585
学校教育施設	小学校 2校	12	18,052
	中学校 2校	9	14,100
	幼稚園 3園	3	3,075
子育て支援施設	保育園	1	726
	学童保育 横溝千鶴子記念子育て支援総合センター	1	301
保健福祉施設	ふれあい会館	1	631
	福祉センター	1	1,464
	横溝千鶴子記念障害福祉センター	1	985
	老人福祉センター	1	595
地域集会施設	会館、福祉館、老人憩の家ほか	19	3,575
	岩田孝八記念室内競技場	1	742
社会教育・スポーツ施設	大磯運動公園	3	1,575
	生涯学習館	1	480
	郷土資料館	1	1,773
	図書館	1	1,864
産業観光施設	加工所・直売所	2	88
	観光案内所	1	34
	照ヶ崎プール 鴨立庵・藤村邸	2	237
町営住宅	月京住宅・東町住宅	2	1,509
駐車場施設	自転車駐車場	1	2,413
美化センター施設 その他	し尿処理棟・管理棟	2	1,939
	駅前公衆トイレ	1	42
計		82	64,515

今後40年間の総額が約288億円にのぼることが分かりました。さらに道路、橋、公園、下水

道などインフラ施設についても改修・更新費用が必要になります。

**公共施設とは** 国や地方自治体（県や市町村）が建設する施設。町では、本庁舎や学校、地域会館などいわゆる「ハコモノ」と呼ばれるものだけでなく、道路や橋、下水道などのインフラも含め公共施設と捉えています。



▲町役場（本庁舎）



▲生涯学習館



▲消防署・消防本部

性を示す「大磯町公共施設再編基本方針」をまとめました。基本方針は、町ホームページに掲載しているほか、本庁舎の情報コーナーでご覧いただけます。

今年度は、この基本方針に基づき「大磯町公共施設等総合管理計画」の策定に取り組み、将来の町のあるべき姿を考え、地域性や時代のニーズも把握しつつ、公共施設全体をどうしていくかを検討します。

10月頃までに公共施設等総合管理計画の『素案』を作成し、素案に対する町民の皆さんから

のご意見をいただくため、パブリックコメントを実施する予定です。

先送りできない公共施設の更新問題について、町民の皆さんには、痛みを伴うことをお願いしなければならぬことあるかと思えます。ご理解をいただきながら、しっかりと進めてまいります。

問 総務課 内線209